

HISAKA'S
スタイル

わたしが大切にしている活動ポリシー



Style 1

公平公正な姿勢!

市民全体に向けた活動を心がけ、**個人後援会は作りません。**



Style 2

政策づくりが議員の仕事!

議員としての**専門性**を磨き、**市民の自治力の向上**をバックアップします。



Style 3

話し合いが大切!

意見の違いは粘り強く議論し、「**第3の道**」を見つける**努力**をします。

HISAKA'S
Profile

多摩市に住んで34年になりました!

- 1977年 兵庫県神戸市生まれ/4歳から3年間は札幌に暮らす
- 1985年 多摩市諏訪(当時は連光寺)に転入
- 1989年 北諏訪小学校卒業
- 1992年 桐朋女子中学校卒業
- 1995年 桐朋女子高等学校(普通科)卒業
- 1999年 中央大学法学部政治学科卒業
- 大学卒業後2002年まで中小企業金融公庫(今の日本政策金融公庫)勤務。
- 2002年4月 多摩市議会議員補欠選挙にて25歳で当選して活動開始。
- 2004年 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科入学
- 2006年 公共政策学修士(同大学院修了)
- 2017年 多摩市議会第31代議長就任
- 2019年現在 議員歴5期17年目
子ども教育常任委員会所属

趣味/1年前からレッスンを再開!ピアノを弾くこと。
今年の秋の発表会をめざして練習しています。

昨夏から始めました...たまにランニング。
息切れしないようにするための体力づくりをしています。



↑群馬県桐生市で開催されました!

市議会レポートほうれんそう

岩永ひさかへのご相談は...

ご用件と希望する連絡先を留守番電話へ!必ず折り返します。

TEL **042-371-0763** 留守番電話専用

市議会レポート 特別号

岩永ひさかのほうれんそう

文章: 岩永ひさか(多摩市議会議員/所属党派:改革みらい)
多摩市諏訪2-2 B410 ブリリア多摩ニュータウン
TEL/FAX 042-371-0763

ブログ更新中!!
ご意見も随時
募集しております!

<http://www.iwanaga-hisaka.net/>



ごあいさつ・わたしの想い

市議会議員になって17年の月日が経ちました。

そして、2年前、「議長」という大役を仰せつかりました。市議の一人という立場ではなく、議長という立場から「多摩市議会」のこと、「多摩市政」のあり方を考えてきた2年間、これまで以上に「**公平公正な市政運営**」を進めていく必要を感じています。

数の力だけではなく、「**少数派の意見**」にも耳を傾けることのできる政治をつくりたいと思います。

また、「議長」という立場を通じて、さまざまな場所、場面でこれまで以上に多くの市民のみなさまとお会いし、「**多摩市のためにお役に立ちたい**」と**考え、行動するみなさんの存在**に「私たちのまち」が支えられているのだとますます実感しています。

だからこそ、私はみなさまとともに「誰にとっても居場所のある地域づくり」をめざし、「**一人も見捨てない**」政治をこの地域から実現していきたいと思えます。一人ひとりの生き方を尊重し、見守りながら、困ったときに「**助けて!**」と**声に出せる環境**をつくりたい。一人でも多くの人と私たちの居心地・くらし心地の良い場所をつくりあげていきたいです。引き続き、「**一人ひとりのいのち・くらしを大切に**するまち」をともにつくっていきましょう。

平成31年 春咲く一日に

岩永ひさか



学校トイレ洋式化進捗状況!



やっと**50%越え!!**

平成26年3月末 46.3%

→平成31年3月末年末57.4%

トイレ以外にも学校の施設改善に対する要望をお寄せください!

もっとフェアに！わたしたちのくらしづくり。みんなのひろばづくり。
 現在(いま)と将来(あした)をつなぐ議論をともに。

■市民の智恵と力を活かす

少し先の未来のことを思い描くこともなかなか難しい。そんな時代に、私たちは今、生きているように思います。

10年前に考えられなかったようなことも、10年たった今、実現している。技術革新のスピードの速さに、人間が追い付けなくなるのではないのか？とさえ思うことも多々あります。

でも、人口減少社会、超高齢化社会、それを支える限りある財源と私たちが乗り越えていかなければならない課題に対し、**智恵と新しい技術を駆使することがますます求められていく**と考えています。



↑2月には市内で自動運転バスの実証実験が行われました。地域公共交通の未来に向けて期待されていますが、安全性も含めて、まだまだ課題は多そう。

一方、新しい技術だけで、私たちの社会が成り立つわけではありません。

やはり、一人ひとりの生きる権利、生きる力を大切に、多様性が発揮できる地域社会が必要です。そのためには、**人として一人ひとりに向き合い、お互い様に聞き合える関係性を構築することがますます求められる**と考えています。



↑普段はSNSなどでコミュニケーションをとりながら、ゆるやかにつながる。街を知る、楽しむマラソン大会「多摩シャルソン！」は今年で3回目を迎えています。

新しい技術は行政や議会と市民とのコミュニケーションの在り方もきっと変えていくでしょう。だからこそ、**私たち議会や議員はもっともっと市民と接するチャンネルを増やし、さらに市民の智恵と力を活かした地域づくり・多摩市づくりに力を注いでいかなければならぬ**のだと思います。

■「地域にこだわる」 「支えるヒトにこだわる」

また、これからは、地域で時間を過ごし、楽しむ人がもっともっと増えていくと思います。

住んでいる人も、ここに訪れた人も、それぞれの人が、「**たくさんのお思い出をつくれるようなまち・多摩市**」を**実感**できるような場づくりがもっともっと必要です。そして、このまちが最も大切にしてきた「**住む人にとって最高の環境・住み心地満点のまち**」をプロデュースするための取組みが求められると思います。

そして、「わたしたちの今」だけを考えるのではなく、**子どもたちの将来にも活気のあるまちをしっかりとつないでいくための継続性を常に念頭に置く**必要があります。

ボランティアの市民のみなさんが支えてきた「**たまロケーションサービス**」も10周年を迎えました。多摩市のPRに大いに貢献している市民活動のひとつです。これからも期待しています！→



ニュータウンのまちびらきとともに一気に建設された公共施設の老朽化、傷んだ道路や橋の維持や補修等、やらなければならないことはたくさんあります。そして、これからますます福祉への要望も高まります。だからこそ、**既存の発想に縛られることなく、常に「今」を問いながら、次の時代のまちづくりに新たな発想で取組もうと奮闘する市民のみなさん**とともに学びを深め、その活動を後押しし、これからも、**市民の自治が広がる「もっとフェアな政治」をつくり、地域づくりを進めていきたいと思います**。

わたしの政策方針

見捨てない、排除しない地域社会

一人ひとりの生きる権利、生きる力を大切に、**多様性が発揮**できるわたしたちのまちをつくる。

住み心地、くらし心地を守っていく

「わたしたちの今」だけでなく、**生き活き**とした「子どもたちの将来」へとしっかりとつなぐ「**持続可能性**」を**確立**する。